

## は し が き

本県の水産業・漁村を取り巻く環境は、資源状況の悪化や魚価の低迷、漁業就業者の減少・高齢化に加え、燃油価格の高騰など、依然として厳しい状況にあります。

県においては、このような情勢や国の方針、「かごしま将来ビジョン」等を踏まえながら諸施策を実施し、「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化に取り組んでいます。

当センターにおきましても、「水産技術の開発と普及」を図るため、漁海況情報の迅速な提供、カンパチ等有用魚介類の種苗生産技術開発、資源管理や藻場造成の技術開発など、多様化する研究ニーズに対応した研究を進めているところです。

平成21年度は、センターに再編・統合してから6年目にあたり、スジアラ、カンパチ等の種苗生産技術の向上や、漁業情報の迅速な提供、新たな水産加工品の開発支援などの成果がみられました。

また、新たな取組として鹿児島大学との共同研究によるマダコ小型個体脱出装置に関する研究や、通電加熱技術の導入による水産食品の加熱及び殺菌技術の高度化などに着手しました。

ここに、水産技術開発センターが平成21年度に実施した試験研究等の結果を「事業報告書」として取りまとめましたので、参考にしていただければ幸いです。

今後とも、多様化・高度化するニーズに的確に対応しながら、計画的で効果的な試験研究に取り組むこととしておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

平成22年9月

鹿児島県水産技術開発センター  
所長 佐野悦郎